



製薬

全薬グループ/全薬工業株式会社 研究開発センター

所在地/八王子市南大沢4-7-1
TEL.042-670-3901 <https://www.zenyaku.co.jp>
創業/1950(昭和25)年7月 従業員数/600名(連結)(2024年4月1日現在)




もっと、くわしく
見てみよう!

どのような薬で私たちの健康をサポートしてくれるの?

ドラッグストアや薬局などで販売している薬や化粧品を製造しています

私たちは、かぜをひいたときに飲む薬や、健康を維持するための薬、肌のうるおいを保つ化粧品など、安全で安心して使える製品をつくっています。1950年の創業時から積み重ねてきた技術を活かし、皆さんに健康と美を提案し、笑顔になっていただくことを目指しています。



研究開発センター

「製薬」とはなんですか? 「製薬」とは病気を治したり、体の不調を整えたりする「薬をつくること」です!

薬をつくるとともに安全に使ってもらうための情報提供もしています

薬をつくるには体のしくみを研究し、病気の原因を探し、効きそうな成分(物質)を見つけます。そして症状にあわせて錠剤・粉・液体などの形にします。薬は私たちの生活に欠かせませんが、間違った使い方をすると体に悪い影響が出て危険です。そのため安全で正しい薬の使い方や健康情報なども一緒に提供しています。



私たちは「OTC医薬品」をつくっています

OTCとは、英語の「Over The Counter(オーバー・ザ・カウンター)」を略した言葉。“カウンター越しにお薬を販売する”という意味で、ドラッグストアや薬局などで買える薬を指します。私たちは、かぜ薬や痛み止めなどの薬や、ビタミン剤やカルシウム剤などの健康を維持するOTC医薬品をつくっています。



発売開始から66年「ジキニン」シリーズ

私たちの会社は1958年から「ジキニン」シリーズという、かぜ薬をつくり続けています。かぜをひいたときに出る熱やのどの痛みなど、さまざまな症状に効く薬です。ドラッグストアや薬局などで買うことができます。



▲ジキニンイメージキャラクター:ジキ忍

OTC医薬品はどのようにつくられるの? 安全で効きめのある薬をお届けするため 全社員で協力してつくっています!

- ①調査・研究**
最新情報を集め、どんな薬をつくるか決める。製品を形にするための研究をする。
- ②開発・製品化**
大量生産をする際も効果に差が生まれないう、何度も試して薬を完成させる。
- ③製造・販売許可を取得**
薬を製造し販売するため、効果や安全を保証する情報を収集。国や都道府県に許可を取る。
- ④工場生産**
お客さまに安心して使ってもらえるよう、安全と品質を一番に考えて工場で作る。
- ⑤発売**
販売スタッフに正しい使い方を学んでもらう勉強会を開く。製品特長をCMなどで伝える。
- ⑥販売後の情報収集**
お客さまや販売スタッフからの情報を集め、製品に問題が起きていないか調べる。

SDGsなど、どんな取り組みをしているの? お客さまに寄り添った製品をつくっています!




使用期限(年月)	製造番号
2024.02	CCN01

もっと健康で明るい未来のために
皆さんの健康と笑顔につながる製品づくりを目指して、最新の知識や技術を結集し、薬や化粧品などの研究開発に取り組んでいます。

持ちやすいボトルを採用
容器は誰もが使いやすいよう、持ちやすさにこだわってつくっています。例えば、ボトルの中間にくびれをつくることで、手の小さな方でも持ちやすくなっています。

読みやすい印字を使用
パッケージに書かれている「使用期限」などの文字や数字は、読みやすいレーザー印字を使用して少しでも読み間違いを減らせるようにしています。

働く人の声を聞いてみよう! Q&A

Q.どんなときに魅力を感じますか?
まだ世の中になく全薬ならではの優れた薬をお届けできるよう、常にチャレンジ精神を忘れないようにしています。すべての研究成果が製品につながる訳ではありませんが、たくさんの社員と力を合わせてつくり上げた製品が店頭に並んだときの喜びは格別です。

Q.どんなときにやりがいを感じますか?
研究はモノづくりの原点であり、成功までの道のりは長く、失敗や苦労が多いです。その中で新しい素材や機能を発見して、皆さんに使ってみたいと思ってもらえる製品ができたときには楽しさややりがいを感じます。

Q.仕事で大切にしていることは?
使い心地のよいもの、品質の良いもの、安全なものをつくることを大切にしています。手に取ったお客さまが安心して、満足感を持って使い続けることができる化粧品をつくるために、色々な試作や試験を行っています。

Q.どんなときにやりがいを感じますか?
自分の手がけた化粧品が店頭に並んでいるのを見たとき、そして化粧品を使ったお客さまから「肌がきれいになった」「肌の悩みが解消した」などのお声をいただくと、数多く実施した試作の苦労が報われ、やりがいを感じます。

成分などの効きめの研究担当

化粧品の研究担当